

第51回(平成30年度)「医学研究助成」対象者

- 研究課題
1. 放射線治療法の選択
 2. 正常眼圧緑内障の治療
 3. 肝炎ウイルス排除後の発癌
 4. 頸動脈プラークの治療法の選択

(課題別五十音順)

研究者	研究主題
慶応義塾大学 専任講師 北郷 実	切除困難局所進行膵癌症例に対するGEM+nab-PTXに放射線療法併用の有用性
国立がん研究センター ユニット長 白石 航也	子宮頸がんの術後放射線療法に対する予後を規定する体細胞遺伝子異変の同定
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 准教授 福倉 良彦	消化器癌の放射線治療効果予測のための非侵襲的画像バイオマーカの確立
長崎大学 教授 益谷 美都子	がんの放射線治療増感法の個別化の研究
筑波大学 講師 水本 斉志	小児髄芽腫に対する全脳全脊髄照射における至適放射線治療法の探索
大阪国際がんセンター 特命プロジェクトリーダー 三吉 範克	新規初代培養細胞を用いた放射線感受性予測と個別化治療法の構築
がん研究会 担当部長 吉岡 靖生	前立腺癌に対する各種放射線治療の効果、有害事象、QOL、コストの比較による最適な治療法選択
自治医科大学 教授 若月 優	子宮頸癌腔内照射における組織内照射併用腔内照射(Hybrid 腔内照射)の適応判断
東京大学 特任講師 朝岡 亮	正常眼圧緑内障に対する眼圧下降療法のディープラーニング併用変分近似ベイズ線形回帰法による評価
東京都医学総合研究所 分野長 原田 高幸	正常眼圧緑内障を克服する生活習慣とドラッグリポジショニング
九州大学 医員 藤原 康太	正常眼圧緑内障の個別化治療に向けた発症・進行予測モデルの作成:久山町研究
信州大学医学部 助教 城下 智	C型慢性肝炎患者におけるウイルス学的著効後の肝発癌予測に対するAutotaxinの有用性
九州がんセンター 医長 杉町 圭史	インターフェロンと直接作用坑ウイルス薬による肝発癌機序の解明と肝発癌リスクのスコアリング
京都大学大学院医学研究科 特定助教 高井 淳	次世代シーケンサーによるC型肝炎ウイルス排除後の肝発癌メカニズムの解明
防衛医科大学校 准教授 富田 謙吾	肝星細胞分泌WntリガンドACLP1に着目した、肥満関連肝がんの病態機序の解明と、新たな治療法の開発
熊本大学大学院生命科学研究部 准教授 諸石 寿朗	鉄代謝異常に着目した肝発がん予防・治療標的の探索
国立感染症研究所 主任研究官 渡士 幸一	C型肝炎ウイルス治療後に残る非可逆的脂質代謝異常の分子基盤解明および制御法開発
福岡大学病院 准教授 緒方 利安	新たな超音波検査による頸動脈プラーク内新生血管の診断基準と治療方針の確立
佐賀大学 博士研究員 田中 敦史	2型糖尿病患者における頸動脈プラーク進展抑制を目指した治療最適化の検討
北海道大学病院 講師 納谷 昌直	新型高感度PET/CT装置を用いた生活習慣病患者における頸動脈炎症性プラーク可視化と治療効果判定

第27回(平成30年度)「医学研究特別助成」対象者

(第49回(平成28年度)「医学研究助成」研究報告を対象)

- 研究課題
1. 骨粗鬆症の新しい治療
 2. 特定健診の評価
 3. 認知症の周辺症状への対応
 4. 鏡視下手術死亡の検討と対策

(課題別五十音順)

研究者	研究主題
東京医科歯科大学 教授 中島 友紀	エストロゲン低下にともなう骨粗鬆症の病態解明と革新的な予防・治療法の分子基盤の確立
東京慈恵会医科大学 助教 品川 俊一郎	DNAメチル化量を用いたアルツハイマー病患者の行動・心理症状(BPSD)の出現および治療反応性の予測
大阪医科大学 助教 井上 善博	鏡視下手術死亡の検討と対策